2026年11月13日

各　位

上場会社名　グローム・ホールディングス株式会社
代　表　者　代表取締役社長　菅 原　正 純
（東証グロース・コード　8938）
問 合 せ 先　経営企画部部長　藤 本　竜 哉
（TEL 03-5545-8101）

業績予想の修正に関するお知らせ

直近の業績動向を踏まえ、2026年５月15日に公表した業績予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

１．2027年３月期通期連結業績予想の修正（2026年4月1日～2027年3月31日）

	売 上 高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	１株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想（Ａ）	3,166	197	198	186	20.64
今回修正予想（Ｂ）	2,051	200	200	206	20.22
増減額（Ｂ－Ａ）	△1,114	2	1	20	―
増減率（％）	△35.2	1.5	0.8	10.8	―
（ご参考）前期実績（２０２６年３月期）	2,003	△37	△358	△538	△59.55

注１） 百万円未満は切り捨てて表示しております。
注２） 前期実績・前回発表予想の１株当たり当期純利益は、前期末時点の自己株式を除く前期期中平均株式数9,050,361株で計算しております。
注３） 今回修正予想の１株当たり当期純利益は、2026年9月30日時点の自己株式を除く期中平均株式数10,235,237株で計算しております。

２．連結業績予想修正の理由

（１）売上高

連結売上高は、前回発表予想を1,114百万円下回る2,051百万円となる見込みであります。主な要因は以下のとおりです。

- **医療機器・診療材料・医薬品販売事業（福山医療器株式会社）：** 2027 年 3 月期第 3 四半期以降、医薬品の販売拡大による売上高増加を見込んでおりましたが、新規参入については当初予想以上に困難であり、病院業界全体における医薬品消費量の縮小等もあり、新規参入が大幅に遅延していることから、当初見込んでいた医薬品売上高の計上を見送ったことによる減収（前回予想比約 900 百万円減）、および病院業界全体での医療機器に対する購買意欲衰退に伴う医療機器・診療材料販売額の当初見込みからの減収（同約 116 百万円減）。
- **系統用蓄電所事業：** 経済産業省の方針により 2026 年 9 月 1 日実需給分から需給調整市場における一次調整力市場の上限額が減額されたことに伴う当初見込みからの減収（同約 34 百万円減）。

（２）営業利益および経常利益

福山医療器における医薬品販売計画の未達に伴う利益減少があったものの、各事業において以下のコスト抑制・収益確保策を進めました。

- 海外在住患者向け医療サポート事業における患者紹介原価および諸経費の削減
- 医療経営コンサルティング事業における業務受託報酬の獲得
- 「グロームホスピス高砂台」拠点閉鎖および組織再編に伴う人件費・固定費の圧縮

これらの経費削減および収益構造の適正化を推進した結果、営業利益は 200 百万円（前回予想比 2 百万円増）となる見込みであります。

また、2026 年 5 月に実施した第三者割当増資および新株予約権の発行費用の計上（営業外費用）等がありましたが、違約金収入の計上（営業外収益）を反映した結果、経常利益は 200 百万円（同 1 百万円増）となる見込みであります。

（３）親会社株主に帰属する当期純利益

法人税等の金額修正、損益動向等を反映した結果、親会社株主に帰属する当期純利益は 206 百万円（前回予想比 20 百万円増）となる見込みであります。

（４）１株当たり当期純利益

注記にございます通り、2026 年５月 15 日に公表した業績予想では、第三者割当増資および新株予約権の発行が確定していなかったため、前期期中平均株式数を使用して計算していましたが、今回修正予想では 2026 年 9 月 30 日時点の期中平均株式数を使用して計算したため、１株当たり当期純利益は 20.22 円（前回予想比 0.42 円減）となる見込みです。

（注）上記の業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績等は今後の様々な要因によって異なる可能性があります。

３．配当予想について

今回の業績予想の修正に伴う配当予想は１株当たり３.００円から変更はございません。

以　上